

フォーラム「医学系における公衆衛生大学院」の開催について

1. 主催 日本学術会議 基礎医学委員会・健康・生活科学委員会合同
パブリックヘルス科学分科会
2. 日時 平成20年3月28日（金）17:00～19:00
3. 場所 熊本市民会館・大会議室
4. 次第

（1）開催趣旨

急速な少子高齢化の進行、生活習慣病の増加、新興・再興感染症の発生、労働現場における自殺や過労死の増加、医療安全や医療の質への関心の高まり、医療費増加や医療経営環境の悪化などの社会的背景から、健康と医療に関わる問題について俯瞰的・システムの取り組みのできる専門家の養成が求められている。国の政策においても、文部科学省中央教育審議会が2005年秋の報告書「新時代の大学院教育－国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて」で公衆衛生の専門職大学院を提言するなど、公衆衛生大学院に対する社会的関心が高まっている。

本フォーラムでは、国内の公衆衛生に関わる3つの専門職大学院の教育責任者と他大学の関連の研究者らによる情報交換や討論を通して、わが国の公衆衛生大学院の今後の方向性を示したい。

（2）プログラム

開会挨拶 岸 玲子（北海道大学）

座長 小林 章雄（愛知医科大学）

講演

- 1) 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻について
小杉 眞司（京都大学）
- 2) 九州大学大学院医学系学府医療経営・管理学専攻の理念と実践
馬場園 明（九州大学）
- 3) 東京大学の公衆衛生大学院の概要
小林 廉毅（東京大学）

指定発言

金川 克子（石川県立看護大学）

山本 正治（新潟大学）

演者および参加者での討論

閉会挨拶 實成 文彦（香川大学）